

【リール共通 取扱注意事項】

・このたびは当社のリールをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

トラブルなく釣りを楽しんでもいただくために、記載の注意事項をお守りの上ご使用ください。

・製品の故障による付随的な損害（釣竿・糸・仕掛け・竿掛け等の釣具、魚、交通費・乗船料等の釣行費）についてはいかなる場合にも保証及び弁償致しかねます。

*安全上の注意

①巻取り動作中に、糸を案内するレベルワインドやラインローラー付近に指を近づけないでください。

巻き込み・挟み込みにより怪我の恐れがあります。

②糸を放出しているときに、糸に触らないでください。火傷や怪我をする恐れがあります。

③事故や怪我につながる恐れがありますので、幼児の手が届く場所に置かないで下さい。

④リールを構成する部品は、金属・硬質プラスチックで、鋭角な部分があります。濡れた手で触る時など

怪我をしないように注意をしてください。

⑤事故や怪我につながる恐れがありますので、幼児の手が届く場所に置かないで下さい。

⑥巻取り中に、糸に付着した水分や微細なゴミ、リール本体に塗布された油分などが飛散することが

ありますので、目に入らないように注意をしてください。

⑦ハンドルやローターなどの回転部分に手や衣類などを巻き込まないように注意してください。

*安全上・ご使用上の注意

A（ベイトキャスティングリール） 仕掛けや疑似餌を投げる時には、必ずクラッチを切ってください。

糸が出て行かないため、怪我の恐れがあります。また、釣具の破損や紛失の恐れもあります。

B（スピニングリール） 仕掛けや疑似餌を投げる時には、必ずベールを起こしてください。

糸が出て行かないため、怪我の恐れがあります。また、釣具の破損や紛失の恐れもあります。

仕掛けや疑似餌を投げる時に、ハンドルの空転などにより、クラッチやベールが戻らないように注意をしてください。糸の放出が止まり、反発で怪我の恐れがあります。また、釣具の破損や紛失の恐れもあります。

根掛りをした場合は、竿やリールを使わずに、糸を手にとって外してください。その際は、怪我のないように手袋やタオル・根係り外しツールなどを使用し手を保護してください。

リールには、ハンドル回転に連動して回転する部品や、平行移動する部品があります。こうした部品に指などを

挟まないように注意をしてください。

ドラグを連続で長時間使用すると発熱することがあります。やけどに注意をしてください。

落下や強い衝撃を受けた場合、素材や剥離したメッキや塗装などの表面処理が、鋭利な状態になっている恐れが

有りますので、素手で触らないようにしてください。怪我の恐れがあります。

リールを竿に付けた状態で、竿尻を地面や船縁に打ち付ける等の衝撃を与えないでください。リールのスタンド

部分が破損する恐れがあります。

リールを釣り以外の用途で使用しないでください。

リールを水没させないでください。特に砂地で水没させますと、重大な不具合の原因になります。

リールに針を引っ掛けしないでください。鋭利な傷や、表面処理の剥離につながります。

お手入れの水洗いには、中性洗剤を使用し、シンナー等の有機溶剤・漂白剤などは使用しないでください。

変形や変色の恐れがあります。

リールを取付けた状態で竿尻に衝撃を与えないでください。特に振り出し竿収納時に、注意をしてください。

船べりの穴や竿掛けに竿を置く際に、リールに衝撃がかからないように注意をしてください。

お手入れの際には、一旦竿から外すようにしてください。固着や腐食などの不具合を避ける為です。

＊取扱上の注意（取扱説明書上の注意喚起）

①仕掛けやルアー等を投げる時には、周囲に人や障害物が無いか、人・車・枝・電線などに接触しないように

安全確認を行ってください。ウキ・オモリ・ルアー等が人に当たると重大事故につながる恐れがあります。

ストッパーON/OFF レバーの操作時の注意点（一部の機種に搭載されています）

- ・キャスト時は ON にします。

- ・テンションが掛かっている状態での OFF への切り替えはハンドルなどが急に逆回転をするため危険です。

糸巻時の注意点

- ・ PE ラインの空転

PE ラインはスプール底部分でしっかり結束しないと、巻き終わった後に空転することがあります。

結束後、5～10mは、強めのテンションで巻取り、結束部の空転が無い事を確認してから残りの糸を

巻き取ってください。

- ・ ナイロンラインは、強いテンションで巻き取った場合、巻取り後の収縮によりスプールに負荷が加わり

ます。最悪の場合、変形や破損が考えられますので、ご注意ください。

特に細いナイロンラインを下巻きに使用するような事は避けてください。

リーダー（先糸）を使用する際の注意点

- ・リーダーの結び目がロッドのガイドや両軸受けリールのラインガイドを強打して破損する恐れがあります

結束部をトップガイドより外側にすることをお勧めします。

- ・太いリーダーをラインストッパーに挟むと破損する恐れがあります。

ハンドル交換時の注意点

- ・ハンドル着脱時にキャップ等の部品を紛失しないように注意してください。

- ・ハンドル交換後、取付ガタやネジ等の緩みが無い事を確認してから釣りを開始してください。

- ・折りたたみハンドルで、ハンドルアーム側に突起が有るものは、スリーブと突起部分を確実に噛み合わせてから

固定してください。

- ・ハンドルスクリューキャップを外したときに樹脂部品と一緒に外れず、リール本体に残っている場合、ハンドル

交換が出来ませんので、リール本体に部品が残っていないか確認後にハンドルの取付けを行ってください。

⑥スプール脱着時の注意点

- ・スピニングリールのスプールを外す際に、ドラグノブや、スプール位置調整ワッシャーなどの紛失に注意して

下さい。

- ・ベイトキャスティングリール（両軸受けリール全般）のスプールを外して戻す際に、サイドカバーを確実に

締めて下さい。サイドカバーの装着が不完全なまま使用されますと、釣行中に外れる恐れがありますので注意を

してください。

⑦お手入れ上の注意点

- ・ ワンウェイクラッチ部分やドラグ部分に注油をしないでください。
- ・ 水洗い時は、ドラグを締め、保管時は、緩めてください。
- ・ 水没させたり、お湯を使用しないでください。
- ・ 風通しのよい冷暗所で保管してください。

⑧定期点検のおすすめ

長期間使用しない場合、軸受けの油脂が抜けるなどの動作不具合が発生することがあります。

使用前に簡単な動作確認を行って頂き、異常を感じた場合は、商品購入の店舗にて修理受付を行ってください。

パーツの色調・デザインについて

お客様が長年使用した商品は、外観色（アルマイトやスレットの色）が変色して、アフターパーツとのバランスがとれない（色違いに思える）事があります。

長年にわたり生産している商品は、製造時期によりデザインが変わる事があります。

修理を行う上で、ご理解頂きたい点

ステッカーやグリップ部の収縮チューブなど、装飾を剥がすことがあります。

ラインガイドを通してラインを外すため、スイベルを外す、もしくは一部ラインを切断する事があります。

長年にわたり生産している商品は、製造時期によりデザインが変わる事があります。

リールの分解修理にあたり、ラインに油分が付着する事があります。

改造品の修理は、原則行いません。

破損部分以外の部品交換が発生する場合があります。

例：リールのネジや、カバーが接着されている場合

●カスタマーサポートのご案内

当社製品に対するお問い合わせがございましたら、下記のフリーダイヤルやメールをご利用くださいますようお願い申し上げます。

フリーダイヤル 0120-22-8451(アルファタックル) ※フリーダイヤル受付時間 8:30～12:00／13:00～17:30（土日・祝日・年末年始・夏季休暇を除く）

※メールの場合はホームページのお問い合わせをご利用くださいますようお願い申し上げます。

●ホームページ FAQ（良くある質問と答え）のご案内

ホームページ FAQ コーナーでは、お客様から良くお問い合わせをいただくことについて Q&A を掲載しております。そちらもご利用くださいますようお願い申し上げます。

